

巧妙な Web セキュリティに耐え得る Chrome を社内の標準ブラウザへ

～ブラウザの効果的な導入方法と運用管理のベストプラクティス～

毛利 健

Google・Chrome Enterprise 事業部

Chrome Enterprise Browser Specialist 部長



本日本お伝えしたいこと

巧妙化するWebのセキュリティ事情とブラウザの役割 01


Chromeブラウザ法人向けの導入メリット 02

ChromeブラウザによるセキュアなGoogle Workspace活用 03

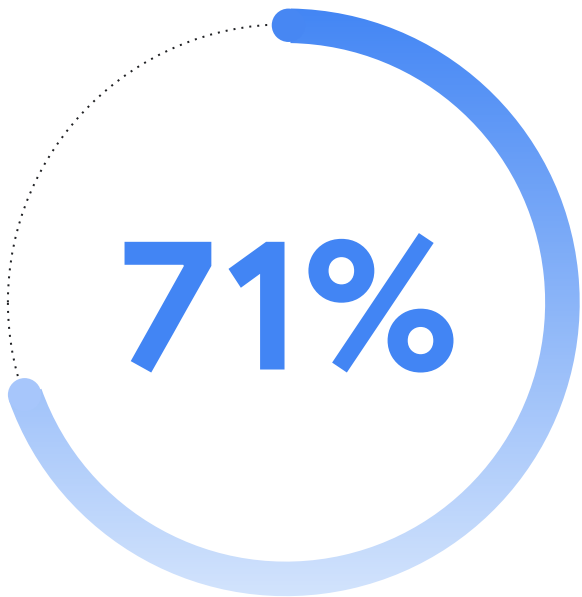
企業向けのChromeブラウザサポートオプション 04



01



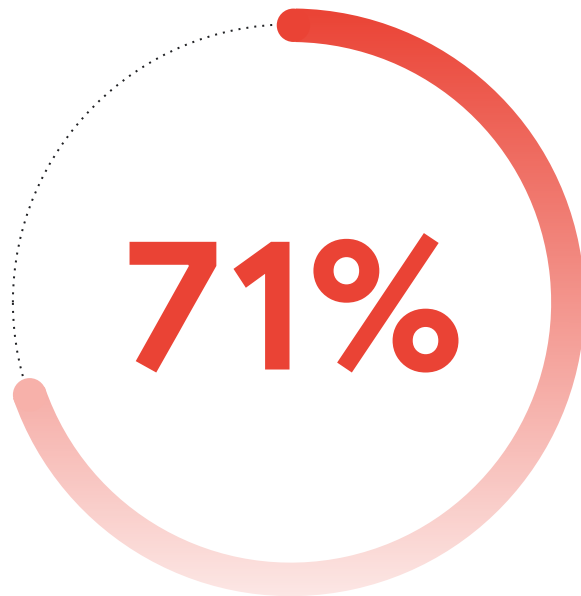
巧妙化する Web の セキュリティ事情と ブラウザの役割



の時間をクラウドワーカーは
ブラウザかバーチャルミーティングで
仕事をしている

Source: Google Cloud Worker Thought Leadership Study, Forrester, 2022

ゼロトラスト セキュリティの普及に伴い、脆弱性の届け出は Web に関するセキュリティ事案が

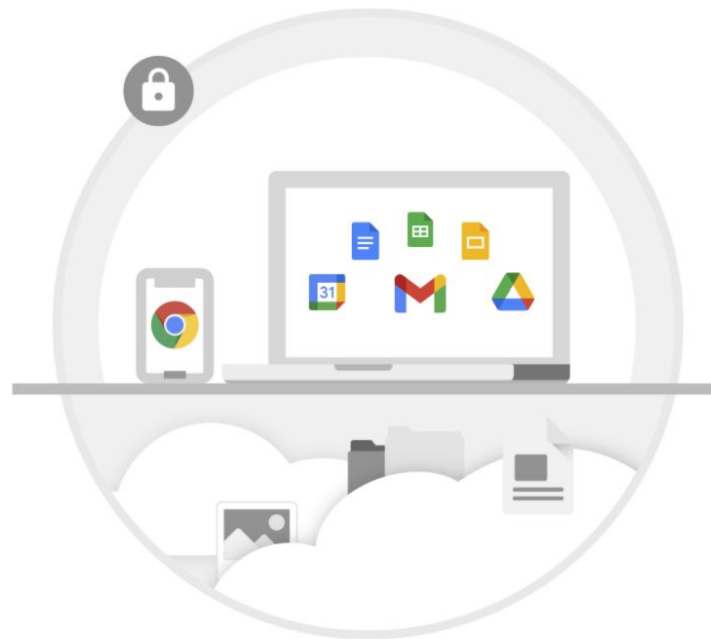


Source: IPA (情報処理推進機構 ソフトウェア等の脆弱性関連情報に関する届け出状況2022)

ブラウザの 役割の進化

From:
ウェブへの
アクセスポイント

To:
生産性とセキュリティを担
保するエンドポイントとし
ての重要な役割





02

Chrome ブラウザ 法人向けの導入メリット

Chrome ブラウザ - 法人向けに導入するメリット

Google のサービスをビルトイン、安全でパフォーマンスの高いWeb・クラウド活用を促進

サービス統合性

Google のサービス(検索、翻訳、地図、Google Workspace 等)をもっと使いやすく



拡張性

厳格に審査されたChrome Web Store から配布する拡張機能で SaaS の利活用を拡大



生産性

チューニングされた各OS のパフォーマンス、電力消費性能、タブ整理や検索



マルチ OS 体験

Chrome Sync によるタブ、履歴、ブックマーク、パスワード等のシームレスな活用



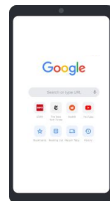
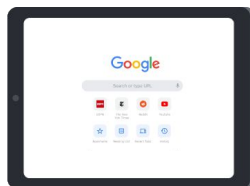
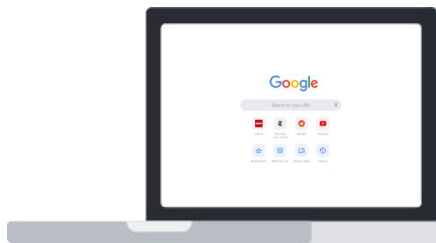
管理性

Chrome ブラウザ クラウド管理による一貫性のある高度なガバナンス



セキュリティ

フィッシング詐欺やマルウェアの高度なスキャン、素早いゼロデイ対策、ウイルスのタブ隔離



Chrome ブラウザ クラウド管理

シンプルなクラウドベースのポリシー制御でマルチOS 上のブラウザのガバナンスを一元化



豊富なポリシーによるブラウザ管理



セキュリティとコンプライアンス



拡張機能のシンプルな管理

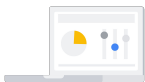


更新ポリシーによる運用負担の軽減

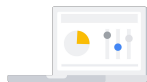
Google 管理コンソール (Chrome ブラウザ クラウド管理)



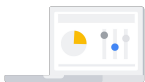
Windows



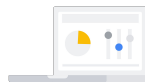
Mac



Linux



Chrome OS



Android

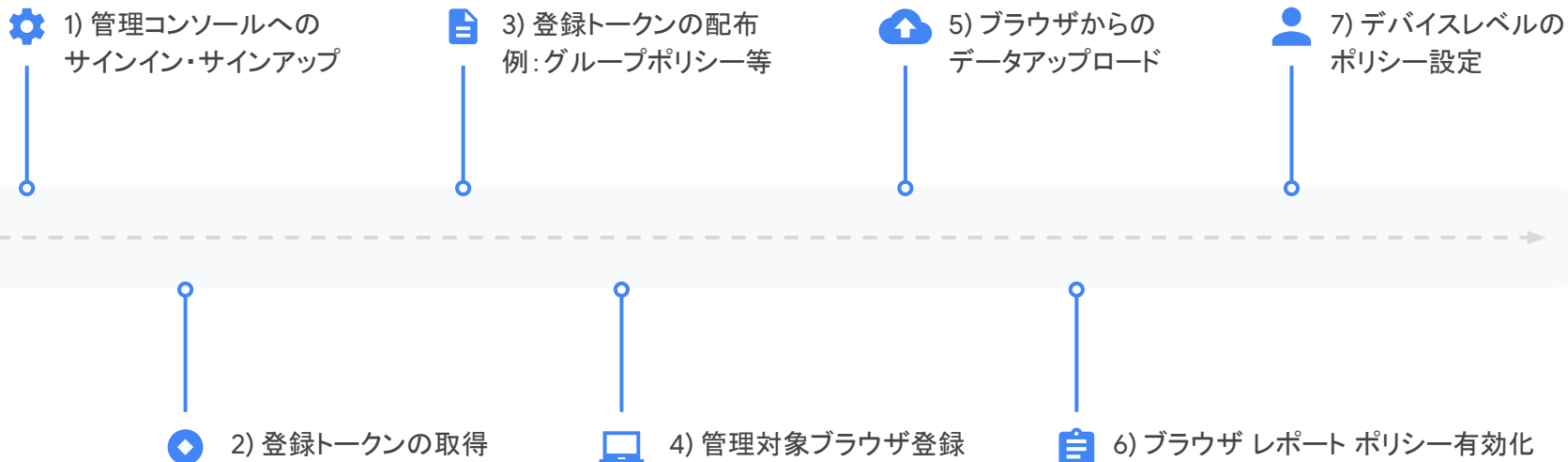


iOS



Chrome ブラウザ クラウド管理 - 登録の流れ

無償で Google 管理コンソールにサインアップして、既存の手法で管理対象として登録可能



Chrome ブラウザ クラウド管理 – 登録の流れ

Google 管理コンソールへのアクセス

- 既存の Google 管理コンソールから運用開始
 - Google Workspace 等、既に Google のサービスをご契約のお客様は既存の Google 管理コンソールを用いて運用可能
- 新規に独自ドメインを持ち込んで申込み
 - 以下のリンクより、Chrome ブラウザクラウド管理に無償で申し込み、Google 管理コンソールをセットアップ

Chrome ブラウザクラウド管理 (Google 管理コンソール) 申込み手順

<https://support.google.com/chrome/a/answer/9301420>

Chrome ブラウザクラウド管理を設定する

1. Chrome ブラウザクラウド管理に申し込む

< 次へ: 2. クラウド管理型の Chrome ブラウザを登録する >

クラウドベースの Google 管理コンソールで Chrome ブラウザを管理するには、デバイスをドメインに関連付ける必要があります。

Google サービスを使ってドメインを管理していない場合

Google 管理者でない場合:

[Chrome ブラウザクラウド管理に申し込む](#)

Google サービスをすでに使用している場合

Google Workspace などの Google サービスを使用するドメインを Chrome ブラウザの管理にも使用でき

次のいずれかのサービスを使用してドメインを管理して Chrome ブラウザを管理してください。

- Google Workspace
- Chrome ブラウザ エンタープライズ サポート
- Chrome Enterprise Upgrade
- Cloud Identity

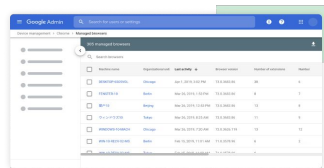
次のステップ

03

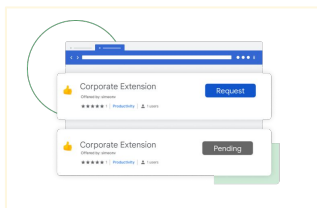


Chrome ブラウザ によるセキュアな Google Workspace 活用

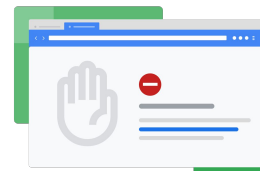
Chrome ブラウザによる Web セキュリティの強化



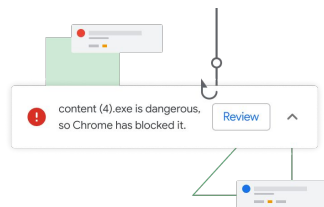
Chrome ブラウザ クラウド管理によるマルチ OS で一貫したポリシー制御



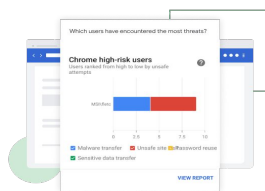
拡張機能のリスク監査と洞察に基づいた配布やブロック



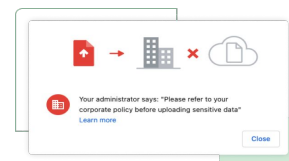
プロフィール隔離による BYOD 端末の安全なポリシー制御



セーフブラウジングによるマルウェアとフィッシング対策



ブラウザ上のセキュリティログの収集
・洞察・SIEM 連携

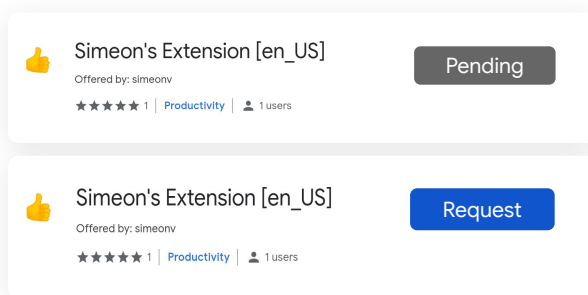


データ保護ルールに即したブラウザ上のデータ損失防止

拡張機能のリスク監査と洞察に基づいた配布やブロック

Chrome ブラウザ クラウド管理による拡張機能の運用

- 組織内で利用されている拡張機能の可視化とリスク監査
- プッシュ配信・許可リスト・ブロックリストによるユーザーと管理ニーズの双方に応える拡張機能制御
- ユーザーのインストール リクエストの承認ワークフロー
- 外部の安全でないソースやパッケージされていない拡張機能のブロック



プロフィール隔離による BYOD 端末の安全なポリシー制御



個人プロフィール



会社プロフィール



社給 PC 管理対象

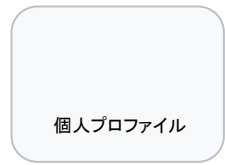


コンテキストウェアアクセスと
デバイスレベルの管理ポリシー

(条件例)

- Chrome ブラウザクラウド管理の管理対象
- Chrome ブラウザの更新バージョンが110 以上

```
device.chrome.management_state ==  
ChromeManagementState.CHROME_MANAGEMENT_STATE_BROWSER_MANAGED  
&&  
device.chrome.versionAtLeast ("110")
```



個人プロフィール



会社プロフィール



BYOD 非管理対象



コンテキストウェアアクセスと
プロフィールレベルの管理ポリシー

(条件例)

- 管理対象外PC の Chrome ブラウザで会社ドメインのプロフィールでサインアップ
- Chrome ブラウザの更新バージョンが110 以上

```
device.chrome.management_state ==  
ChromeManagementState.CHROME_MANAGEMENT_STATE_PROFILE_MANAGED  
&&  
device.chrome.versionAtLeast ("110")
```

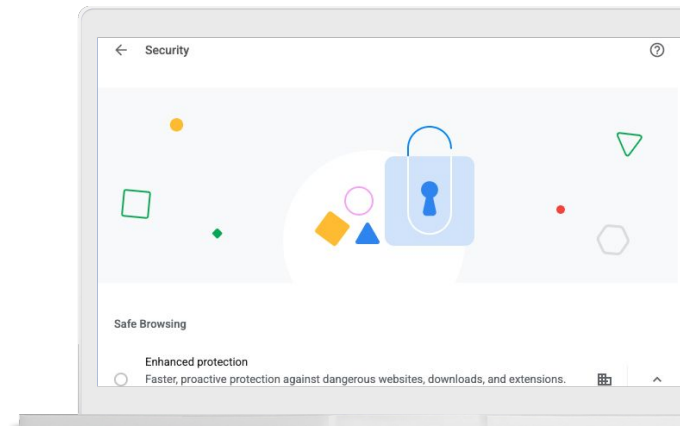


セーフブラウジングによるマルウェアとフィッシング対策

- グローバルの脅威アナリストとGoogle セキュリティアナリストが**高速且つスケーラブル**な Web セキュリティを担保
- **強化されたセーフブラウジング**をポリシーで設定することにより、フィッシングや悪意のあるサイトの検出率を35% 向上
- Web サイトからの悪意のある**プログラムの実行を隔離、ファイルのダウンロードの制御**

260M

月辺り危険なサイトに対して警告

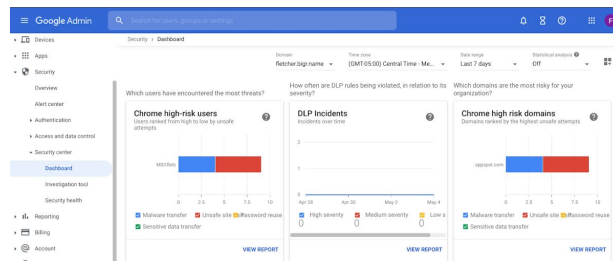


ブラウザ上のセキュリティ ログの収集・洞察・SIEM 連携

収集できるセキュリティ情報:

- マルウェアの転送
- 安全でないサイトの訪問
- パスワード再利用
- パスワード変更
- 拡張機能によるイベント
- ログイン イベント
- クラッシュ イベント

Chrome ブラウザ
クラウド管理から連携



splunk >

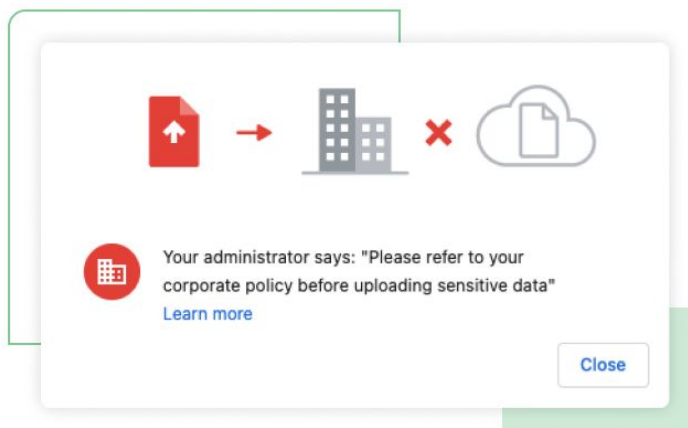
CROWDSTRIKE

paloalto
NETWORKS

Chronicle

BeyondCorp Enterprise

データ保護ルールに即したブラウザ上のデータ損失防止



センシティブなデータを含むファイルがアップロード・ダウンロードされた際のブロックやログ取得



保護された情報に対するブラウザ内または外へのコピー & ペーストの禁止



ブラウザ上のデータのやり取りに対するデータ保護ポリシーに基づいたユーザー警告

04



企業向けの Chrome ブラウザ サポート オプション

クリティカルな業務アプリケーションやウェブへの接続を止めない
Chrome ブラウザ 企業
向けサポート



潜在的なリスクや従業員のブラウジングによるダウンタイムを回避



専門的なブラウザの知識を持つエキスパートに対する問い合わせ



システム運用にかかる時間を節約して本来の戦略的な時間に投資

Chrome ブラウザ – 有償サポート対象範囲と条件

サポートの対象範囲

- Chrome ブラウザクラウド管理
- Windows のグループポリシーテンプレートや MSI インストーラーによる展開
- 従来のブラウザ設定ポリシー (Internet Explorer との切替)
- 第 3 者のソフトウェアやサイトに起因しないブラウザの問題
- 最新の stable, beta, dev バージョンのサポート
- すべての OS に対するサポート

サポート条件

- Google Workspace ≥ 100 ライセンス
- Chrome Enterprise Upgrade (CEU) ≥ 100 ライセンス
- Google Cloud Enhanced | Premium サポート

対応時間

- 24 時間 7 日受付
(日本語対応は日本のサービスガイドラインの営業時間に準ずる)
- 購入されたサポート毎に定義された応答時間による回答

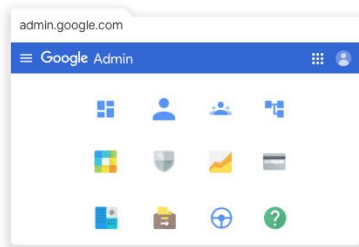
サポートされる言語

- 英語
- 日本語



まとめ

Chrome ブラウザで生産性が高く安全なクラウド活用を



Chrome ブラウザ クラウド管理

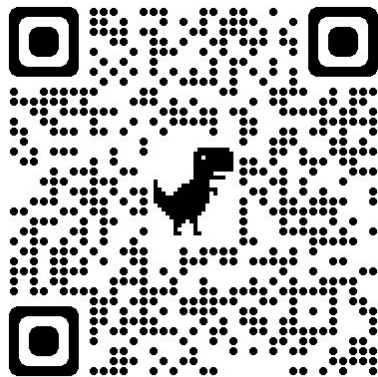
無償でマルチ OS 上のブラウザの制御を一元化

ユーザーのニーズに応えられるブラウザ運用

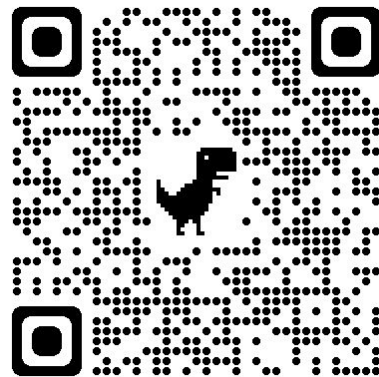
クラウド活用のエンドポイントであるブラウザを安全に



Thank you.



シンプル、効率的、包括的なブラウザ運用
“Chrome ブラウザ クラウド管理”



ブラウザ運用を Google が支援
“企業向け Chrome ブラウザ サポート”